

## 仕様

型 式	FRX-003
給 水 仕 様	内蔵タンク方式(4L)
定 格 電 圧	AC100V
定 格 周 波 数	50Hz/60Hz
定 格 電 流	1.5A
消 費 電 力	約150W
保 護 装 置	過電流ヒューズ(本体内部)
給 水 条 件	給水水質/純水、精製水、または水道法基準に適合した水道水、井戸水 給水水温/5℃~40℃
使 用 環 境	周囲温度/10℃~40℃ 相対湿度/0%~85%
性 能	強酸性水:pH2.2~2.7 有効塩素濃度 20~60mg/l(標準時間による) 強アルカリ性水:pH 11以上 電解時間:標準4分(時間調節1分~15分) 強酸性水/2L 強アルカリ性水/2L 微酸性水:pH5~6.5 有効塩素濃度 10~80mg/l(標準時間による) 4L 電解時間:標準4分(時間調節1分~15分)
電 極 寿 命	約3000時間
外 形 寸 法	高さ403mm×幅247mm×奥行276mm
重 量	約3kg
付 属 品	2Lビーカー(手付)×2個、攪拌棒(計量スプーン付)1本、よう化カリウム澱粉紙1箱、 比色表シール1枚、隔膜交換日シール1枚、刃型交換アダプター1個、ロート1個、4L保存容器×1個

## 保証書

本書は、本書記載内容に基づき無料修理を行うことをお約束するものです。  
お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、  
お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

お 客 様	フリガナ	お 電 話
	ご氏名	郵便番号
	フリガナ	
	ご住所	

品 名	ZIA QUATTRO
型 式	FRX-003
製造番号	
保証期間	本 体 (電極・隔膜寿命のぞく) 1年

販 売 店	住 所	
	店 名	
	電 話	— —

お買上げ日	年 月 日
-------	-------

※太枠内は必ずご記入ください。

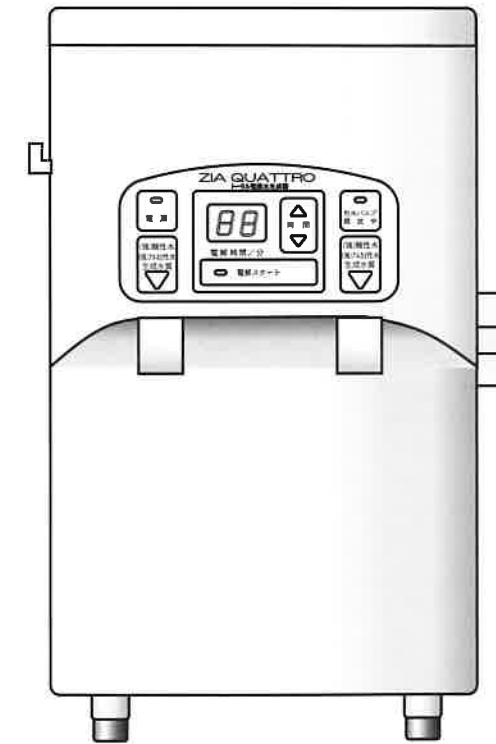
### 保証規定

1. 正常な使用状態(取扱説明書等の使用条件並びに注意事項に従った使用状態)で故障した場合には、お買上げの販売店が無料修理を致します。
  2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、お買上げの販売店に本書をご提示のうえ、ご依頼ください。
  3. 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。  
1 本書のご提示がない場合。  
2 本書にお買上げの年月日、お客様名、お買上げの販売店名の記入がない場合、および本書の字句を書き換えられた場合。  
3 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障および損傷。  
4 お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。  
5 火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷。  
6 付属品などの消耗による交換。
  4. この保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
  5. この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- \*この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問合わせください。

# ZIA QUATTRO

## トータル電解水生成器 FRX-003

## 取扱説明書



この度はZIA QUATTROをお買い求めいただきまして誠に有難うございます。  
この取扱説明書には、ご使用になる上で大切な事が記載されています。  
正しく安全にお使い頂くためにも、ご使用前には必ずお読みください。

**警告** 正しい使い方をされなかった場合の事故および故障について、  
当社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

総発売元 **株式会社ユーピー**

神奈川県横浜市旭区笹野台1-44-5 〒241-0816  
TEL 045-367-3731

製造元 葵エンジニアリング株式会社

# ■安全上のご注意 必ずお守りください

本書に記載した注意事項は次のように危険の程度や内容に応じて使い分けています。製品をお使いになる前に必ずお読みください。

**警告**：誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

**注意**：誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- ・重傷とは、失明、けが、やけど、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび、治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ・障害とは治療に入院や通院を要さないけが、やけど、感電などを指します。
- ・物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

## 警告

**定格電圧外禁止**  
 製品に表示した電源電圧以外の電圧で使用しないこと。また、タコ足配線をしないこと。  
 火災、感電のおそれがあります。

**濡れた手禁止**  
 濡れた手で電源プラグの抜き差ししないこと。  
 感電のおそれがあります。

**禁止**  
 電源コードを傷つけたり、破損しないこと。  
 また、重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電のおそれがあります。

**分解禁止**  
 この機械を分解改造しないこと。  
 火災、感電のおそれがあります。

**プラグを抜く**  
 万一、煙が出ている、へんな臭いがする、発熱するなどの異常事態のときは、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に連絡すること。  
 そのまま使用すると火災、感電の恐れがあります。

**プラグを抜く**  
 万一、異物（金属片、水、液体）が機械の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に連絡すること。  
 そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

## 注意

**使用禁止**  
 生成した水（強酸性水、強アルカリ性水、微酸性水）は、飲んだり、食品に添加しないこと。

**使用禁止**  
 ぐらついた台や傾いたところなど不安定な場所に置かないこと。  
 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

**水気、ホコリ禁止**  
 調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があたるような場所やホコリの多い場所に置かないこと。  
 火災、感電の原因となることがあります。

**注意**  
 生成時に微量の塩素ガスが発生します。換気の良いところで使用すること。

**異常時使用中止**  
 手荒れ・湿疹など肌に異常を感じたときは、直ちに使用をやめ、医師に相談すること。

**保管注意**  
 本機及び生成水の使用、保管に際しては小児の手の届かないところにすること。

**取扱注意**  
 強酸性水は、強力な酸化力があり、金属等を錆びさせたり、腐食させることがあります。

**プラグを持って抜く**  
 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと。  
 電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

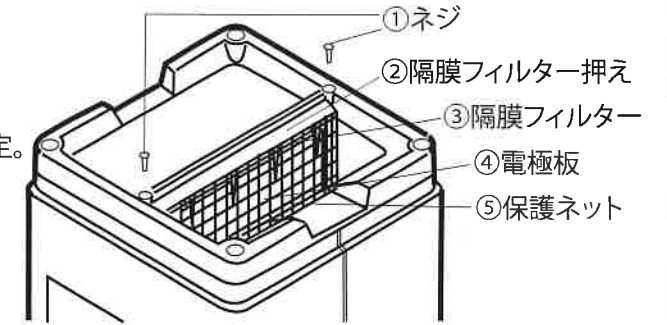
※本器は医療機器ではありません。

# 電解操作を始める前に

## 設定方法

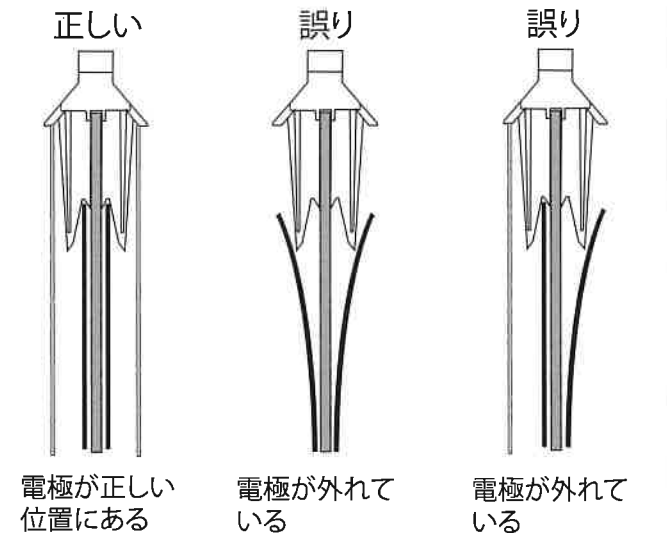
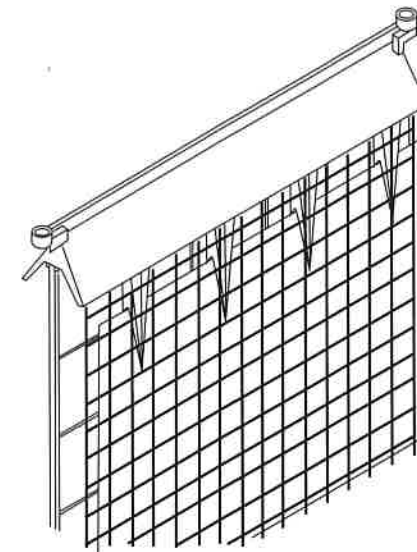
△注意 設定を始める前には電源プラグを抜いて作業を行ってください。

- ① チタン製ネジ（2箇所）：隔膜フィルターを押えを固定。
- ② 隔膜フィルター押え：隔膜フィルター、電極板、保護ネットを固定。
- ③ 隔膜フィルター（1枚）：陰極室と陽極室を隔てる。
- ④ 電極板（2枚）：電解反応させる板。
- ⑤ 保護ネット（2枚）：電極板保護用ネット。



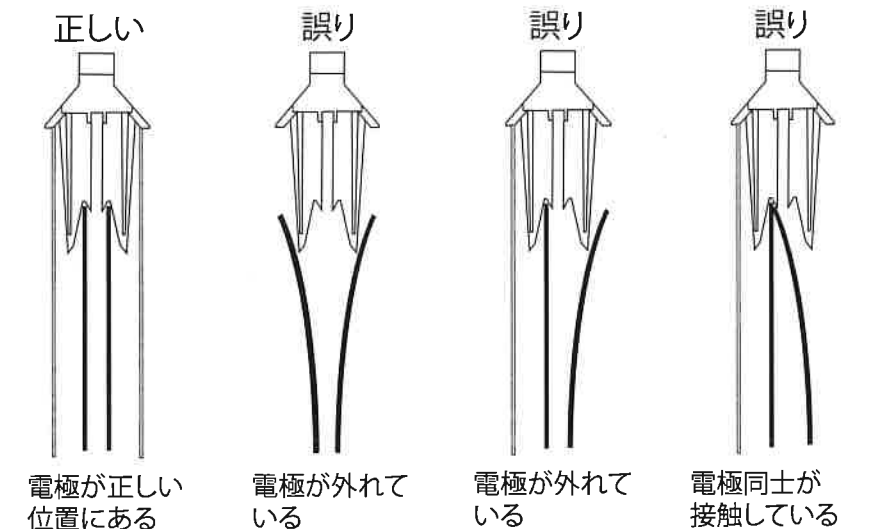
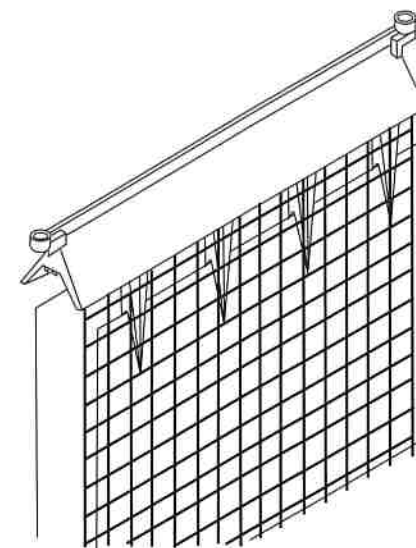
## (強)酸性水・(強)アルカリ性水の場合

隔膜フィルターが電解槽の溝に沿って、底まで差し込まれていること。下図の正しい状態にセットされているか確認してください。



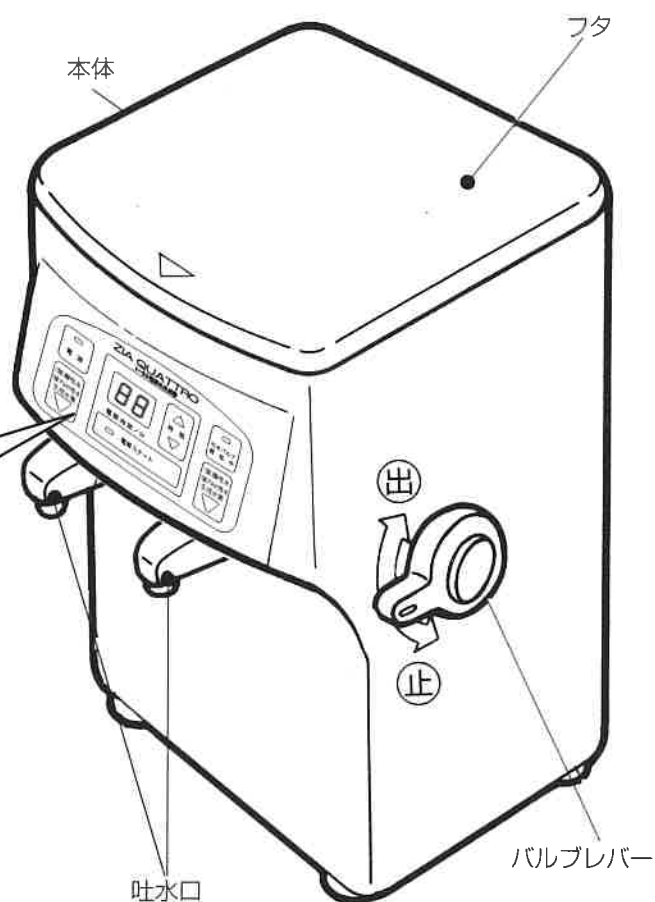
## 微酸性電解水の場合

隔膜フィルターを取り外して電極板を正しくセットしてください。保護ネットを取り付ける際に、電極板同士が接触しないように注意してください。電極板が接触していると、性能が得られなかったり、機器の破損につながります。

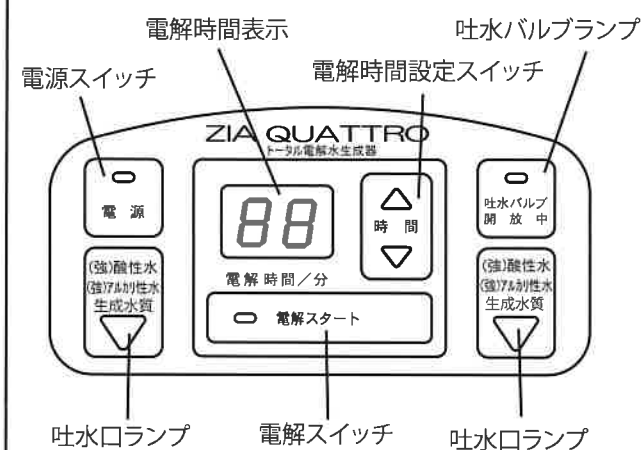


# 本体各部の名称

## 本体



## 表示パネル

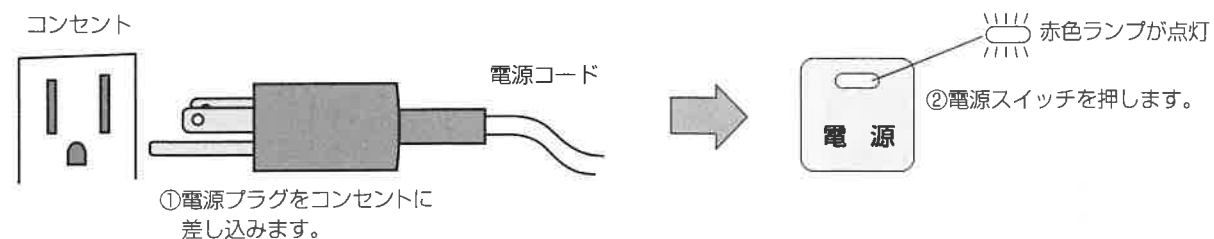


## 付属品

付 属 品			
2L手付ビーカー 強酸性水×1個 強アルカリ性水×1個	攪拌棒×1本 (計量スプーン付)	よう化カルリウムでんぷん紙1箱(10冊)	比色表シール×1
ロート×1	刃型変換アダプター×1	4L保存容器×1	隔膜交換日シール×1

# ■(強)酸性水／(強)アルカリ性水の操作手順

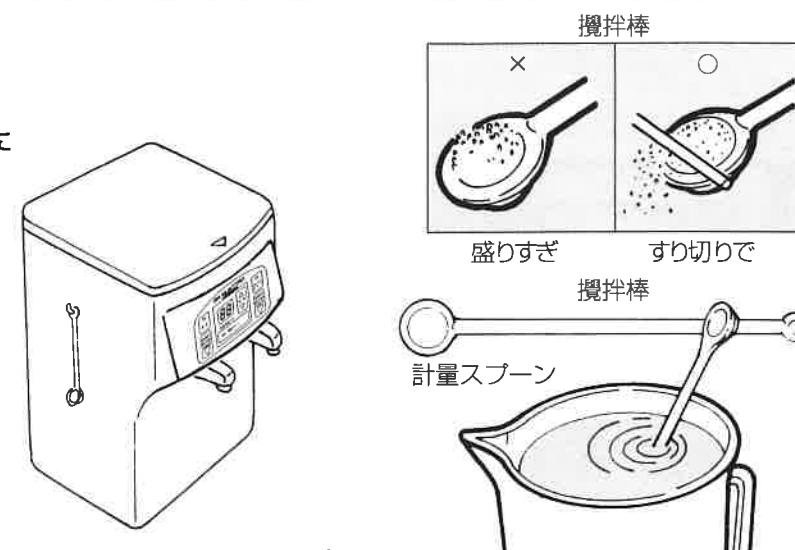
## 1 電源を入れます。



## 2 食塩水を作ります。2Lビーカー2杯分。

1. 隔膜フィルターをセットした状態で、付属の2Lビーカーに水を2L入れます。
2. 付属の攪拌棒の計量スプーン部分に食塩をすり切り一杯入れます。
3. 2Lビーカーに食塩を入れてよくかき混ぜ溶かします。これを2杯用意します。

☆計量スプーンは使用後よく水を切り本体左側のフックにかけておくとう便利です。

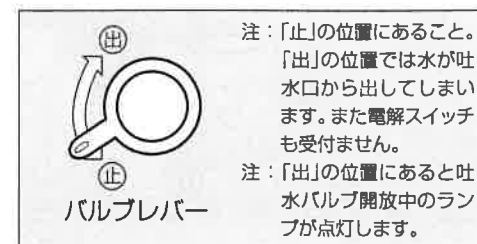
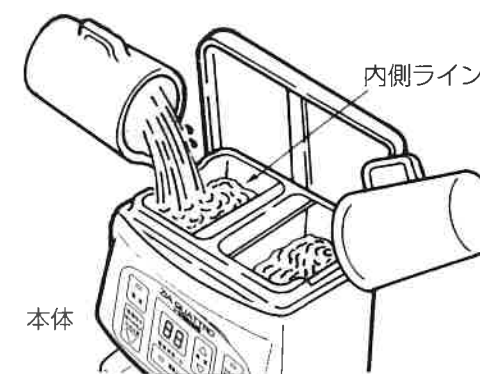


注：食塩は塩化ナトリウム99%以上(公益財団法人 塩事業センター)を使用してください。  
(粗塩、調味料入りの食塩等を使用した場合、性能は確保できません。)  
注：ビーカー1杯につき、食塩を計量スプーン1杯です。

完全に溶けるまでよくかき混ぜる。溶けていないと性能にバラつきが出ます。

## 3 本体のフタをあけ、作った食塩水をいれます。

フタをあけ、作った食塩水を入れます。



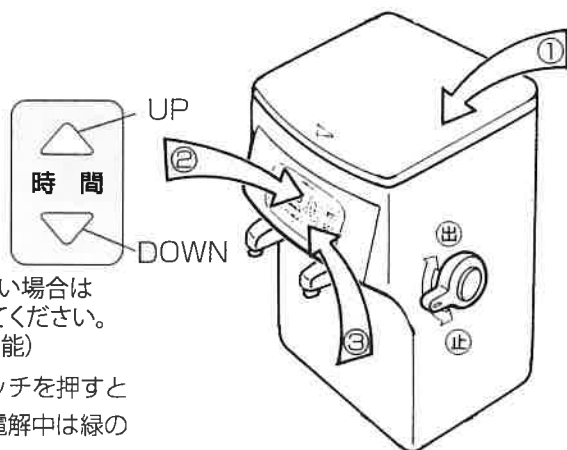
- 注：1左右の槽の水位が均等になる様に食塩水を入れてください。  
2.槽の内側ラインが水量2Lの目印です。  
3.両方同時に入れてください。

注：「止」の位置にあること。「出」の位置では水が吐水口から出してしまうます。また電解スイッチも受付ません。  
注：「出」の位置にあると吐水バルブ開放中のランプが点灯します。

## 4 フタを閉め電解時間をセットし、電解スタートスイッチを押します。(電解開始)

1.フタを閉めます。

2.電解時間をセットします。  
(タイマーの目安) 標準時間4分



有効塩素濃度が低い場合は時間を長く設定してください。(1分~15分調整可能)

3.電解スタートスイッチを押すと電解を始めます。(電解中は緑のランプが点灯します。)

注：電解中はフタを開けないでください。

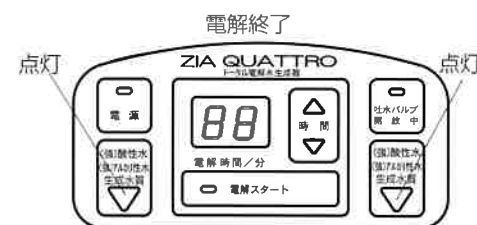


※電解中は吐水口ランプが点滅しています。赤が強酸性水、緑が強アルカリ性水を示します。終了すると点灯になります。(1回毎に赤/緑が逆になります。)

## 5 初めての使用時、長期間未使用の場合。

初めての使用時や長期間未使用の場合は、電解時間を15分にセットし電解してください。出来た生成水は捨ててください。

## 6 強酸性水/強アルカリ性水ランプが点滅から点灯にかわり、終了ブザーが鳴りましたら電解終了です。吐水口の下にビーカーを並べて置き、バルブレバーを「出」の位置にし、水を取り出します。



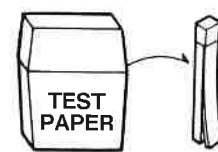
注：電解中に設定時間の変更はできません。作られた側のランプが点灯します。(1回毎に変わります。)

完全に生成水が抜けましたら、バルブレバーを④の位置にしてください。吐水終了してもレバーが戻されないとブザーでお知らせします。

- 注：1.終了ブザーが鳴ったらすみやかに水を出してください。水は本体内に残さず、1度で全て抜き取ってください。  
2.強酸性水/強アルカリ性水表示ランプが点灯している側にしがたって吐水口から生成された水が出てきます。吐水口ランプの色に合わせてビーカーをご使用ください。  
※電解1回毎に出てくる水の種類が交互に変わります。使用する際は注意してください。  
3.本体内に水を残したままコンセントを抜かないでください。  
4.水道水を使用する場合、水質によっては強アルカリ性水に白い沈殿物(カルシウム分)が生じることがありますが、害はありません。  
5.生成水は時間とともに性能が劣化します。できるだけ早く使用してください。

## 7 強酸性水の有効塩素濃度の確認

有効塩素の測定方法は付属品のような化カリウムでんぶん紙と比色表シートを使用します。



- 箱から1冊とり出す。
- 1枚切り取る。
- 強酸性水に浸ける。
- 紙の変色具合を比色表と比較しその近い色で判断します。

■有効塩素濃度をさらに強くしたい時は電解時間を長くしてください。■有効塩素濃度を弱く(低く)したい時は電解時間を短くしてください。

強酸性水の有効塩素濃度の基準は20~60ppmです。

## 8 生成作業が終了し、しばらくご使用にならないときは、電源を切ってください。

電源スイッチを押します。

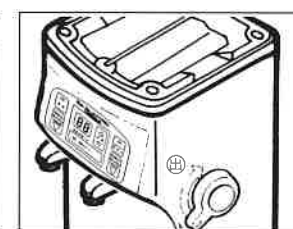


ランプが消え、全ての表示が消灯します。

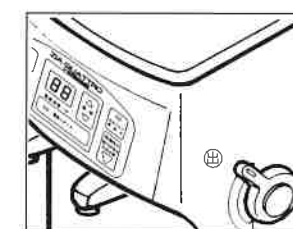
## 9 注意事項



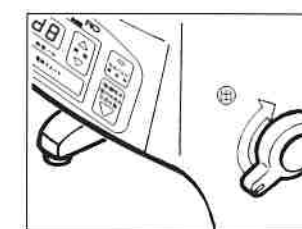
- 食塩水を作る際に、食塩は規定のものを使用し、規定量を守ってください。
- 水は、水道法基準に適合したものを使用し、規定量を守ってください。



- 本体に食塩水を入れる際に、バルブレバーが④の位置になっているか確認してください。④の位置の時は開放中ランプが点灯しています。
- 本体に水がかからないよう注意してください。



- タイマー設定が「0」の時又は、バルブレバーが④の位置にきている時は、電解スイッチがONになりません。
- 電解中にバルブレバーを④にすると電解終了となります。



- 吐水中にバルブレバーを④にすると警報ブザーが鳴ります。1度で全て抜き取ってください。
- 電解終了後は本体に生成水を入れたまま保管しないでください。

**警告** 電解生成を行う場合は、換気の良い場所で行ってください。塩素ガス等が発生しますのでご注意ください。

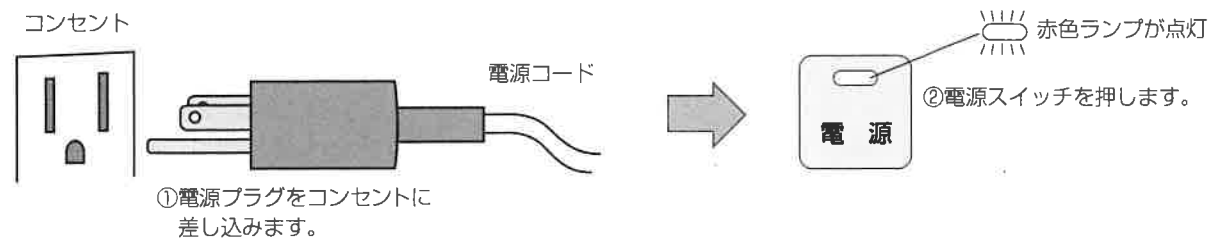
**警告** 生成された(強)酸性水に、塩素系の液体を混合しないでください。有毒な塩素ガスが発生する恐れがあります。

**注意** 指定された食塩で規定量を守らないと、生成性能が得られないばかりか故障の原因となりますのでご注意ください。



## 微酸性水の操作手順

### 10 電源を入れます。

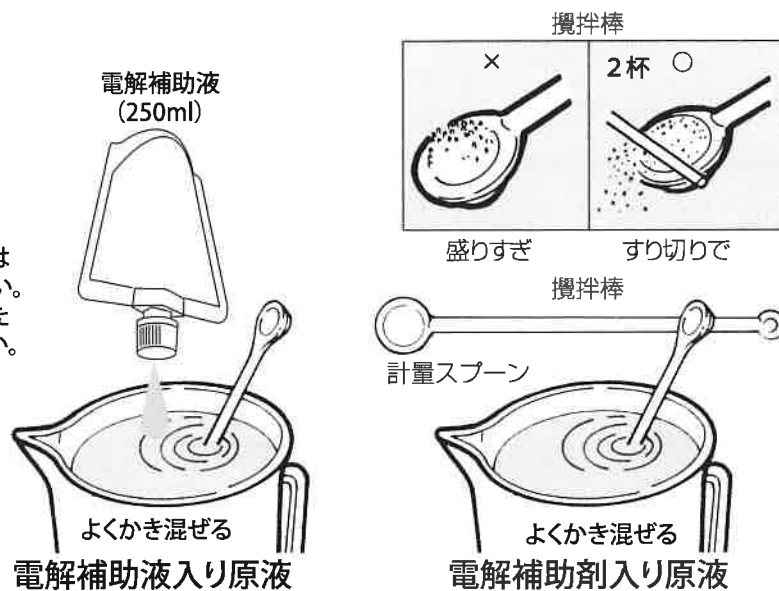


### 11 原液を作ります。 電解補助液入り1杯(2L)、電解補助剤入り1杯(2L)

#### 電解補助液入り原液

1. 隔膜フィルターを外した状態で、付属の2Lビーカーに電解補助液を入れて、水を入れて2Lにします。(電解補助液は250ccです。)
2. 攪拌棒でよくかき混ぜてください。

注：電解補助液は強酸性の水ですので、飲用は絶対にせず取扱いには十分ご注意ください。万が一、皮膚に付いた場合や他に付着した場合は水道水で十分に洗い流してください。



#### 電解補助剤入り原液

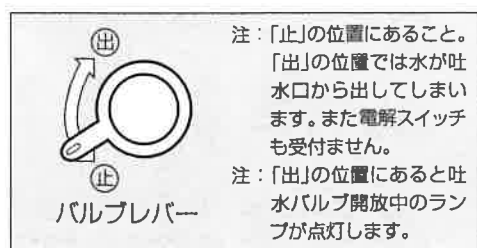
1. 付属の2Lビーカーに水を2L入れます。
2. 付属の攪拌棒の計量スプーン部分に電解補助剤をすり切り2杯入れます。
3. 攪拌棒でよくかき混ぜてください。

注：電解補助液と電解補助剤は指定されたものをご使用ください。性能が得られなかったり、機器の故障につながります。

注：電解補助液は、強酸性の液体ですので取扱いは十分に注意してください。

### 12 本体のフタを取り、作った原液を入れます。

フタを取り、作った原液を入れます。  
作った原液は左右の槽に半分ずつ入れてください。



注：電解補助液は強酸性の水ですので、本体に注ぐ時は十分ご注意ください。万が一、皮膚に付いた場合や他に付着した場合は水道水で十分に洗い流してください。

注：1.槽の内側のラインが水量の目安です。  
2.片側だけに原液を入れると、電解補助液と電解補助剤が混ざりにくくなります。

### 13 フタを閉め電解時間をセットし、電解スタートスイッチを押します。(電解開始)

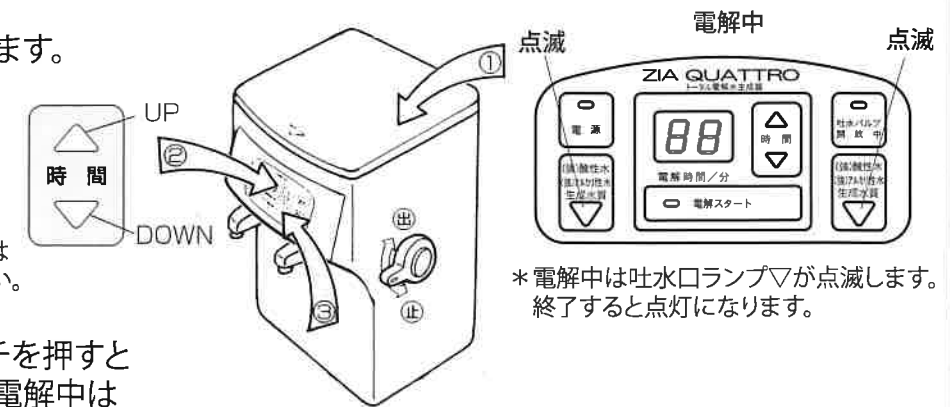
1. フタを閉めます。
2. 電解時間をセットします。(タイマーの目安)

標準時間4分

有効塩素濃度が低い場合は時間を長く設定してください。(1分～15分調整可能)

- 3 電解スタートスイッチを押すと電解を開始します。(電解中は緑のランプが点灯します。)

注：電解中は絶対にフタを開けないでください。

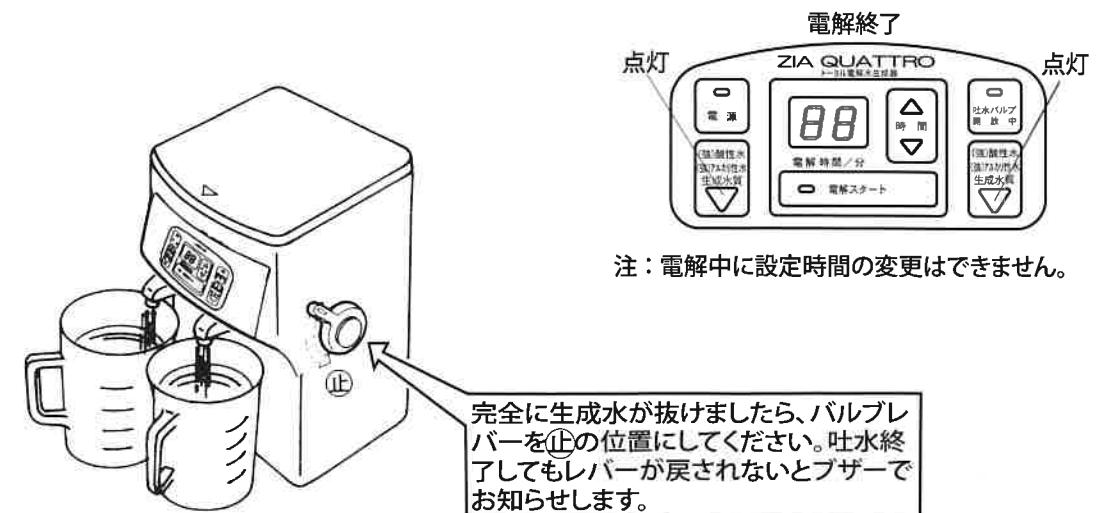


\* 電解中は吐水口ランプが点滅します。終了すると点灯になります。

### 14 初めての使用時、長期間未使用の場合。

初めての使用時や長期間未使用の場合は、電解時間を15分にセットして電解してください。出来た生成水は捨ててください。

### 15 生成水質ランプが点滅から点灯に変わり、終了ブザーが鳴りましたら電解終了です。吐水口にビーカーを並べて置き、バルブレバーを「出」の位置にし、水を取り出します。

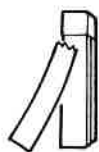
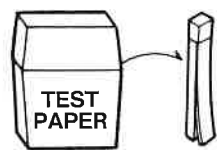


注：電解中に設定時間の変更はできません。

1. 終了ブザーが鳴ったら速やかに水を出して下さい。水は本体内に残さず、1度で全て抜き取ってください。
2. 本体内に水を残したままコンセントを抜かないでください。
3. 水道水や硬水を使用した場合、電解槽内に白い沈殿物(カルシウム等)が生じることがあります。
4. 生成された水は、時間とともに有効塩素が低下しますので、できるだけ早く使用してください。

## 16 微酸性水の有効塩素濃度の確認

有効塩素の測定方法は付属品のよう化カリウムでんぷん紙と比色表シールを使用します。

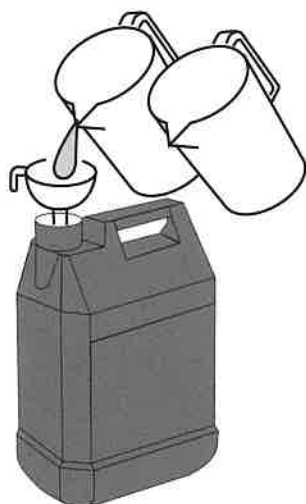


1. 箱から1冊とり出す。
2. 1枚切り取る。
3. 微酸性水に浸ける。
4. 紙の変色具合を比色表と比較しその近い色で判断します。

■有効塩素濃度を調整する場合は、電解時間の設定で行ってください。濃度を高くする場合は長く、濃度を低くする場合は短く設定してください。  
微酸性水の有効塩素濃度は10～80 ppmです。

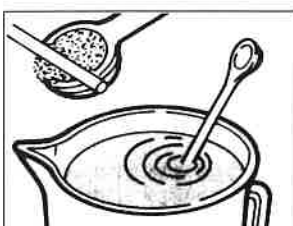
## 17 微酸性水の保存

1. 出来上がった微酸性水を、付属の4L保存容器にロートを使って入れます。(2L×2杯)
2. 容器に保存した後は、お子様の手の届かないところで光の当たらず、温度の低いところで保管してください。
3. 生成後は、有効塩素濃度が低下していくので、できるだけお早めにご使用ください。

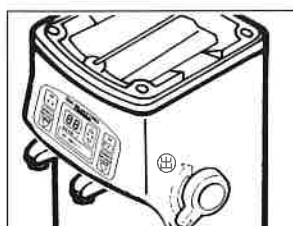


4L保存容器

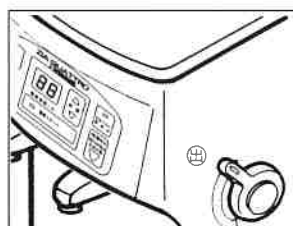
## 18 注意事項



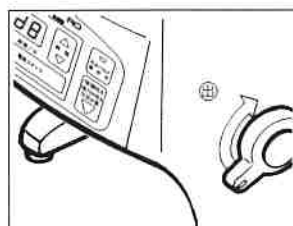
1. 原液を作る際は、指定されたものを使用し、規定量を守ってください。
2. 水は、水道法基準に適合したものを使用し、規定量を守ってください。



1. 本体に原液を作る際に、バルブレバーが①の位置になっているか確認してください。②の位置の時は開放ランプが点灯しています。
2. 本体に水がかからないよう注意してください。



1. タイマー設定が「0」の時又は、バルブレバーが②の位置に来ている時は、電解スイッチがONになりません。
2. 電解中にバルブレバーを②にすると電解終了となります。



1. 吐水中にバルブレバーを③にすると警報ブザーが鳴ります。1度で全て取り出してください。
2. 電解終了後は本体に生成水を入れたまま保管しないでください。

**警告** 電解生成を行う場合は、換気の良い場所で行ってください。塩素ガス等が発生しますのでご注意ください。

**警告** 生成された微酸性水に、酸性系の液体を混合しないでください。有毒な塩素ガスが発生する恐れがあります。

**注意** 指定された電解補助液および電解補助剤を使用し、規定量を守らないと、生成性能が得られないばかりか故障の原因となりますのでご注意ください。

## お手入れの仕方

- 使用しない時は、本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- フタは取り外して、水洗いしてください。
- 本体内(槽)は水道水で軽くすすぎ洗いをしてください。(本体内部に水が入らないように注意してください。)
- 本体の外側はよく絞った布で拭き取るようにしてください。
- 電解能力が低下している場合は、クエン酸洗浄を行ってください。電源プラグを抜いて、本体内(槽)に水道水を内側のラインまで満たした後、バルブレバーを「出」にして排水します。次に計量カップに水2L入れて、クエン酸を約11g入れよくかき混ぜたものを2杯用意します。用意したクエン酸水を本体内(槽)に入れて、12時間以上放置してください。放置後、クエン酸水を排水して、本体内(槽)を水で洗い流してください。

## 別売品

### ■隔膜フィルターユニットFU-UP

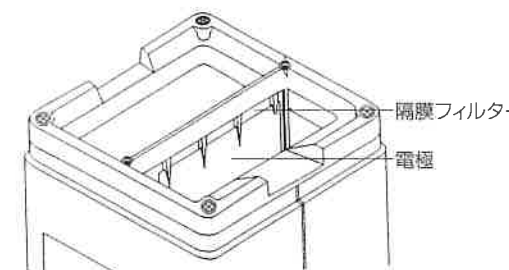
#### ■隔膜フィルターについて

隔膜フィルターは極微小の孔が多数あいている特殊な不織布で作られております。この孔に水道水中のケイ酸やカルシウムなどの不純物が詰まってくると、電極間に電流が流れにくくなり、正常な強電解水が生成できなくなります。

さらにこの状態が進行しますと電極の一部に過電圧が生じ、著しく電極の寿命が短くなります。早目に交換してください。

#### \*交換時期

1日に使用する回数と原水の種類により異なってきます。表に基づいて次回交換日を付属のシールに記入し、本体の見やすい所に貼ってください。



<水道水を使用の場合>

1日の使用回数	交換時期
1～3回	2年
4～7回	1年

<井戸水や硬水を使用の場合>

1日の使用回数	交換時期
1回	2年
2～3回	1年

<精製水を使用の場合>

1日の使用回数	交換時期
1～3回	7年
4～7回	4年

### ■電解補助液(UP-A)

250ml×16パック  
1回で250ml使用する。



### ■電解補助剤(UP-B)

400g 1箱  
1回の使用重量 約3.5g(付属の計量スプーン2杯)

**注意** 隔膜フィルターユニットを取り付ける際は、電極板が接触しないように取り付けてください。性能が得られなかったり、故障の原因となりますのでご注意ください。

**注意** 必ず指定された電解補助液および電解補助剤を使用するようにしてください。生成性能が得られないばかりか故障の原因となりますのでご注意ください。

別売品を購入する場合は、取扱店までご連絡ください。